

ADVANCED INTERCOM SYSTEM

# BTX2 PRO

- › MANUALE D'USO
- › INSTRUCTION GUIDE
- › BEDIENUNGSANLEITUNG
- › MANUAL DE INSTRUCCIONES
- › GUIDE D'UTILISATION
- › MANUAL DE INSTRUÇÕES
- › マニュアル

 Bluetooth™



**MIDLAND**<sup>®</sup>  
PUT YOURSELF IN ACTION

# 目次

BTX2 PRO Intercom System の特徴.....	73
安全にお使いいただくために.....	73
各部の名称.....	74
使い方.....	74
操作モード.....	76
ペアリングのしかた.....	77
インターカムの使用方法.....	78
携帯電話／ミュージックプレイヤーとのペアリング (Bluetooth).....	80
GPS ナビ／レーダーとのペアリング (Bluetooth).....	82
ペアリング情報のリセット.....	83
FM ラジオを聞く.....	83
外部入力端子への接続.....	84
その他の機能.....	85
こんなときは？.....	86

BTX2 PRO インターカムシステムをご購入いただき誠にありがとうございます。



故障かな?と思ったら、85ページの「こんなときは?」に該当する症状がないかご確認ください。  
それでも正常に動作しないときは、販売店にご相談ください。

## BTX2 PRO Intercom Systemの特徴

- 大きな3つのボタンでかんたん操作
- ウルトラスリムスピーカーを使用したハイクオリティーな音質
- 周囲の雑音やスピードに応じボリュームを自動コントロール(AGC機能)
- 通話距離: 1km(インターカムモード時)/700m(グループ通話時)  
※妨害電波が無く、相手が見通せる環境下
- 最大3台(ミッドランド社製:2台 他社製1台)までインターカムを登録
- Talk2All-Universal Intercom機能(他社のインターカムとの通話が可能)
- Bluetoothデバイスとの接続  
※携帯電話、GPSナビ等のBluetooth搭載デバイスと接続できます。
- 携帯電話と接続して、通話やミュージック再生
- ミュージックシェア機能(ライダーとパッセンジャー)
- GPSナビと接続して音声案内
- 外部入力端子を使用して、MP3プレイヤー等の再生
- FMラジオ(6ステーションメモリー)
- 4人同時に通話可能

## 安全にお使いいただくために

安全かつ効果的な取り扱いが行えるように、次の見出しを使用しています。  
見出しの意味を十分にご理解の上、正しくお使いください。

 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容。

### ● シンボルマークの意味

 このマークは禁止の行為であることをあらわします。	 このマークは指示を守ることがあらわします。
---	---

## ⚠ 警告

- ❗ 本製品を道路上で使用する場合は、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従ってください。
- ⊘ 大音量を聞きながら運転しないでください。  
運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながります。
- ❗ 医療機器などの近くでは電源を切ってください。  
Bluetoothの電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えてください。
- ⊘ 飛行機の中では使用しないでください。  
電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。
- ⊘ 本製品を分解・改造しないでください。  
感電や火災、やけどの原因になります。
- ⊘ 本製品の内部に金属物、水などの液体、燃えやすい物質、薬品などを入れしないでください。  
回路がショートして火災の原因になります。

## ⚠ 注意

- ❗ 本製品から異臭や音がしたら、ただちに使用を中止してください。  
そのまま使用し続けると、ショートして火災の原因になるおそれがあります。
- ❗ 高温多湿になる場所での充電、放置は避けてください。  
発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となるおそれがあります。
- ⊘ 水がかかる場所で使用/保管または水没させないでください。また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイクパーツや接続パーツの脱着をしないでください。  
発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- ❗ 本体に無理な力をかけないでください。  
無理に力をかけると破損や故障の原因になります。
- ❗ 本製品を廃棄する場合は、各自治体の条例に従ってください。  
内容については各自治体にお問い合わせください。

## 各部の名称

### ■ 本体

- ① フォワードボタン
- ② ミドルボタン
- ③ バックワードボタン
- ④ ボリューム+
- ⑤ ボリューム-

### ⑥ チャージ端子

minUSB接続ケーブルを接続し、充電します。

※パソコンと接続して、ソフトウェアアップデートを行う  
ときにも使用します。

※チャージ端子は、外部入力端子と兼用です。

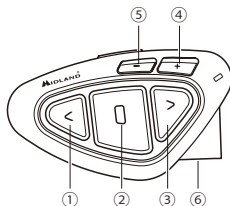
### ⑥ 外部入力端子

iPod、MP3プレイヤーなどの音声を入力するときに使用します。

※外部入力端子をご使用にならない時は、外部入力端子を保護するゴムキャップがしっかりと  
まわっていることを確認してください。

※ミッドランドインカム専用Aux接続ケーブル(別売)が必要です。

※外部入力端子は、チャージ端子と兼用です。



### ■ 付属品 ※( )…シングルパック

- オーディオキット：2(1)セット
  - ・薄型フラットステレオスピーカー
  - ・ブームマイク  
ジェット型ヘルメット用
- ・ワイヤードマイク  
フルフェイス型ヘルメット用

- スライドマウンティングキット：2(1)セット
- ヘルメット固定用ブラケット  
(粘着シートタイプ)：2(1)個
- ヘルメット固定ブラケット  
(クランプ型タイプ)：2(1)個
- マイクロUSB接続ケーブル：1本
- 六角レンチ：1本

### ■ 仕様

- ・Bluetooth4.2
  - ・防水対応(IPX6相当)
  - ・通話距離：1km(インターカムモード時)  
700m(グループ通話時)
- ※妨害電波が無く、相手が見通せる環境下

- ・連続通話時間：20時間
- ・充電時間：約2時間
- ・外部入力端子(ステレオ)

## 使い方



使用時に、製品本体のゴムキャップを、しっかり閉じてください。  
接続端子に雨などが入り故障の原因になります。

### 充電のしかた

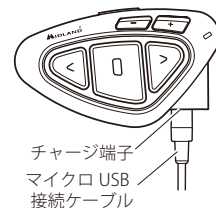
※本製品を使用する前に充電してください。

※充電器は、別途USB充電器をご用意ください。

1. 本体のラバーカバーを外して、チャージ端子に  
マイクロUSB接続ケーブルを接続する。
2. 充電器とマイクロUSB接続ケーブルを接続する。
3. 充電器をコンセントに差し込んで、充電を開始する。  
※充電が開始されると赤色LEDが点滅します。  
※充電が完了すると青色LEDが点灯します。
4. 本体からマイクロUSBプラグを外す。
5. ラバーカバーを元に戻す。

※本製品をご購入時、充電完了まで約3時間かかる場合があります。  
通常充電時間は、約2時間です。

※電源ONの状態ですぐにUSBプラグを接続した場合、電源が自動的にOFFになります。  
充電中に使用する場合は、充電後、電源をONにしてください。



### 電源のON / OFF

#### ■ 電源を入れる

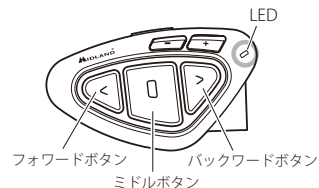
ミドルボタンを青色LEDが1回点灯するまで  
約3秒間押す。

※電源がONになると青色LEDがゆっくりと  
点滅します。

#### ■ 電源を切る

ミドルボタンとバックワードボタンを  
赤色LEDが3回点滅するまで押す。

※赤色LEDが点滅し電源が切れます。



## 装着のしかた

### 1. ステレオスピーカーを取り付ける。

ヘルメット内部の耳に当たる部分に付属の両面テープとマジックテープでスピーカーを取り付けます。



#### 注意

- 運転中に周囲の交通状況を聞けるよう、両耳を完全にふさいでしまうような取り付けかたをしないよう注意してください。

### 2. マイクを取り付ける。(2種類)

マイクは、2種類付属しています。  
ヘルメットタイプに適したマイクを装着してください。

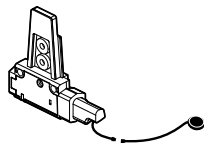
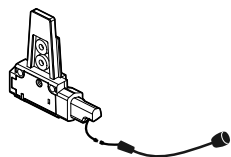
#### ● ブームマイク：

オープンフェースタイプ、フロントフリップタイプのヘルメットに適したマイクです。マイクに付いている両面テープとマジックテープで取り付けます。

マイクの部分が、装着時に口の前に来るように取り付けてください。  
白色のマークが口側に向くように取り付けてください。風切りのノイズキャンセル機能を有効に活用できます。

#### ● ワイヤードマイク：

フルフェイスタイプのヘルメットに適したマイクです。マイクに付いている両面テープとマジックテープで取り付けます。  
マイクの部分が、装着時に口の前にくるように取り付けてください。



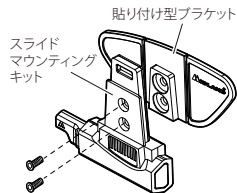
### 3. ヘルメットにスライドマウンティングキットを取り付ける。

スライドマウンティングキットを取り付けるブラケットは2種類同梱しています。  
(貼り付け型ブラケット・クランプ型ブラケット)

#### ● 貼り付け型ブラケットを使用する場合

※ 粘着シートで貼り付ける前に、本体をブラケットに取り付けた状態で最善の装着場所を確認してください。

- ① 貼り付け型ブラケットとスライドマウンティングキットを付属のネジ(2本)で締め付けます。



- ② ヘルメットの取り付け部分から油分などの汚れを除去して、きれいな状態にします。

- ③ 貼り付け型ブラケットの粘着シートのフィルムをはがし、装着面に貼り付けます。  
しばらくそのまま固定して、装着を完全にしてください。

#### ● クランプ型ブラケットを使用する場合

※ ブラケットをネジで固定する前に、本体をブラケットに取り付けた状態で最善の装着場所を確認してください。

- ① クランプ型ブラケットとスライドマウンティングキットを付属のネジ(2本)で仮止めします。
- ② ヘルメットの下から挟み込み、ネジを締め付けます。

#### 注意

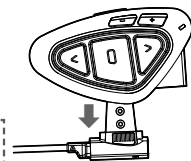
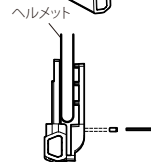
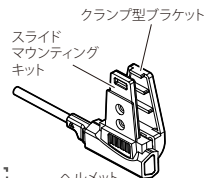
- ブラケットは、あらゆる装着テストを基に設計、用意されていますが、本体のヘルメットからの脱着に伴う事故、破損、損失、故障は、保障範囲から外れます。十分注意して取り付けてください。

### 4. 本体を装着する

- ① 本体をスライドマウンティングキットに合わせて下にスライドさせます。
- ② ゆっくりと本体を押し込みます。  
固定クリップにより本体が固定されます。“カチッ”と音がするまで押し込んでください。

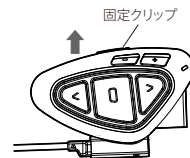
#### 注意

- 装着は完全に行ってください。  
本体が完全にスライドマウンティングキットに固定されていないと脱落する恐れがあり危険です。



#### ● 取り外すには、

- ① ユニット上部の固定クリップを押します。
- ② 固定クリップを押し込んだ状態で、ユニットを上部にスライドさせます。



## 操作モード

### ■ インターカムモード

インターカム通話(個別通話)を行う時に使用するモードです。フォワード、ミドル、バックワードボタンを使用して、ライダーおよびパッセンジャーとのインターカム通話を開始します。  
※ インカムを登録(ペアリング)するとインターカムモードへの切り替えができます。

### ■ グループ通話モード

インターカム通話(4人同時通話)をする時に使用するモードです。

### ■ フォーンモード

携帯電話の応答や音楽を聴くことができるモードです。  
※ 携帯電話/ミュージックプレイヤー等を登録(ペアリング)するとフォーンモードへの切り替えができます。  
※ 電話機を使用する場合は、自己の責任において、十分安全性を確保した上でご使用ください。

### ■ FMラジオモード

FMラジオを聞くモードです。ラジオ局をサーチすることができます。  
※ 6局までメモリー登録できます。

### 操作モードの切り替えかた

ミドルボタンを約3秒間押しすごとに操作モードが切り替わります。  
※ 操作モードが切り替わる毎にインターカム、フォーン、FMラジオなどの音声ガイダンスが流れます。  
※ 携帯電話、インカムなどが登録(ペアリング)されていない時は、FMラジオモードだけとなります。  
※ 本体の電源投入時にモードが音声でアナウンスされます。  
※ 現在のモードが知りたい場合は、ボリューム⑩と⑪を同時に押してください。現在のモードがアナウンスされます。

例えば・・・

- ・インターカムモードの時、3つのボタン(フォワード/ミドル/バックワード)を使ってインターカム呼び出しをしたり、通話を切ったりすることができます。
- ・ラジオモードでは、同じボタンでもラジオ局のサーチや、ラジオのON/OFFを切り替えることができます。
- ※ モードを切り替える場合は、ミドルボタンを3秒間押し、音声ガイダンスでモードを確かめながら、変更したいモードにしてください。

### ● 操作一覧表

モード \ ボタン	フォワードボタン	ミドルボタン	バックワードボタン
インターカム	短押し: ミッドランドインカムとの通話開始/通話の終了 長押し: 他社製インカムとの通話開始	短押し: ミッドランドインカムとの通話開始/通話の終了 長押し: モード切替	短押し: ミッドランドインカムとの通話開始/通話の終了 長押し: -
グループ通話	短押し: ミッドランドインカムとの通話開始/終了 長押し: -	短押し: グループ通話開始 長押し: -	短押し: ミッドランドインカムとの通話開始/終了 長押し: -
フォーン (スタンバイ中)	【ボリューム⑩とペアリングした携帯電話】 短押し: ボイスダイヤル発信または、発信操作のキャンセル 長押し: リダイヤル発信(3秒長押し) 短縮ダイヤル発信(8秒長押し)	短押し: 音楽の再生 長押し: モード切替	【ボリューム⑩とペアリングした携帯電話】 短押し: ボイスダイヤル発信または、発信操作のキャンセル 長押し: リダイヤル発信
フォーン (着信中/通話中)	短押し: 着信の応答/通話の切断 長押し: 着信の拒否	短押し: - 長押し: モード切替	短押し: - 長押し: -
フォーン (音楽再生中)	短押し: 次の曲へ 長押し: -	短押し: 音楽の一時停止 長押し: モード切替	短押し: 前の曲または、曲の先頭へ 長押し: -
FMラジオ	短押し: 上方向へのスキャン 長押し: 次のメモリー登録した局へ	短押し: ラジオのON/OFF 長押し: モード切替	短押し: 下方向のスキャン 長押し: 前のメモリー登録した局へ

※ 長押し: キーを約3秒間押し続けてください。  
※ ボイスアクティベーション機能の切替は、79ページを参照してください。  
※ リダイヤル発信/着信などの機能は、携帯電話をペアリングしたときのみ動作します。  
※ フォーンモードとインターカムモードは、インカム/携帯電話等を登録(ペアリング)した時  
に選択が可能となります。  
※ 携帯電話の音楽は、ボリューム⑩に登録した携帯電話のみ聞くことができます。

### ● 各モードでの優先順位

本製品のインターカム通話及びオーディオソースは、次の優先順位に基づいて動作します。

- 1: 携帯電話での通話(最優先)
- 2: インターカム通話
- 3: FMラジオモード

※ Bluetoothデバイスからの音楽再生中にインターカム通話または携帯電話で通話をすると、再生中の音楽は止まります。

## ペアリングのしかた

1対1で個別に通話できる『インターカムモード』と、グループ通話(4人同時に通話)できる『グループ通話モード』があります。

ご使用になりたいモードのペアリング方法に従って、ペアリングを行ってください。

- ※ ツインパックをご購入された方は、それぞれをミドルボタンに登録済みですので、ペアリング操作をする必要がありません。シングルパックを2個購入した、または後から追加でシングルパックを購入した方は、次のペアリング操作が必要です。また、グループ通話でご使用になる場合は、再度ペアリングを行う必要があります。
- ※ 旧モデルも同様に登録が可能です。  
ただし、旧モデルのインカムソフトウェアをアップデートする必要があります。

### インターカムモードで使用する(個別通話)

#### ■ 3台のインカムユニットをペアリングするには

本製品は、1台のユニットつき3台までペアリングできます。

- ・【BTX2 PRO同士(またはミッドランド製インカム)のペアリング】の登録方法で、ミッドランドのインカムを2台ペアリングすることができます。
- ・【他社製インカム製品とのペアリングするには】の登録方法で、ミッドランド、または他社インカム製品を1台ペアリングすることができます。

#### ■ BTX2 PRO 同士(またはミッドランド製インカム)のペアリング(登録)

1. 本製品の電源をOFFにする。
2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、約7秒間押し続けてセットアップモードにする。
3. 登録したいボタンを約3秒押し続けてペアリングモードにする。  
ペアリングモードに入ると青色と赤色のLEDが交互に点滅します。  
※ フォワードボタン、ミドルボタン、バックワードボタンに登録できます。  
フォワードボタンは、グループ通話時のみ使用します。  
※ ツインパックに別の製品を登録する場合は、ミドルボタン以外を選択してください。  
※ 既に登録済みのボタンで、登録を更新したくない場合は、未登録のボタンを選択して登録してください。
4. もう1台のBTX2 PRO(またはミッドランド製インカム)を1.~3.の手順に従い、ペアリングモードにする。  
自動で登録操作が始まります。  
※ 登録が完了すると、青色と赤色のLEDの点滅が終了し、赤色LEDが点灯します。  
※ 続けて別のBTX2 PRO(またはミッドランド製インカム)登録する場合は、同様の手順を繰り返してください。
5. ミドルボタンを2回押し、セットアップモードを終了する。  
※ 青色LEDがゆっくり点滅し使用できる状態となります。

#### ■ 他社インカム製品とペアリングするには

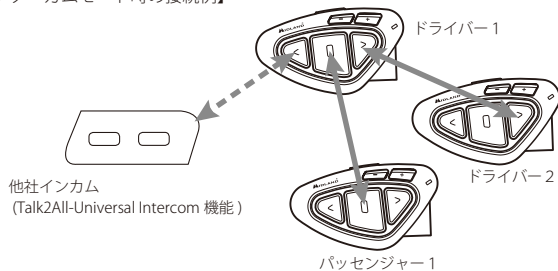
Talk2All-Universal Intercom 機能を使って他社インカム製品を登録します。  
また、ミッドランド製インカムも登録することができます。

#### 注意

- すべての他のBluetooth機器は切られており、ペアリングさせる2台の機器のみが接続されている状態で行ってください。

1. 本製品の電源をOFFにする。
2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、約7秒間押し続けてセットアップモードにする。
3. フォワードボタンを約7秒押し続けてペアリングモードにする。  
※ ペアリングモードに入ると青色と赤色のLEDが、はやい点滅からゆっくりした点滅に変わります。
4. 他社インカム製品を操作してBTX2 PROとペアリングする。
  - ① 他社インカム製品を携帯電話とペアリングするのと同じ手順で操作します。
  - ② 自動的に登録操作が始まります。
  - ③ 本製品と他社インカム製品の登録が完了すると青色LEDがゆっくりと点滅します。  
※ 他社インカム製品には携帯電話を登録しないでください。  
※ ミッドランド製インカムを他社インカム製品として登録する場合、携帯電話のペアリング方法でペアリングします。  
※ 詳しくは、他社インカム製品の取扱説明書を参照してください。

#### 【インターカムモード時の接続例】



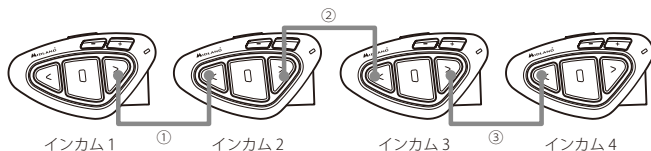
※ インターカム通話することに前のインターカム通話は、切断されます。



## グループ通話モード(4人で同時通話)で使用する

### ■ 会議通話使用時のペアリング方法

【BTX2 PRO同士(またはミッドランド製インカム)のペアリング(登録)】(74ページ)の手順に従って、下図の様にチェーン構成でペアリングを行ってください。



### 【登録手順】

- ① インカム1のバックワードボタンとインカム2のフォワードボタンをペアリングする。
  - ② インカム2のバックワードボタンとインカム3のフォワードボタンをペアリングする。
  - ③ インカム3のバックワードボタンとインカム4のフォワードボタンをペアリングする。
- ※ 上図のチェーン構成は、全てBTX2 PROで構成した例です。  
※ すべてのインカムのグループ通話設定をONにする必要があります。  
※ インカム1のフォワードボタンとインカム4のバックワードボタンはペアリングし  
ないでください。  
※ グループ通話モード時は会議通話(複数人での同時通話)となり、個別に通話する  
ことはできません。

## インターカムの使用方法

1対1で個別に通話できる『インターカムモード』と、4人同時に通話できる『グループ通話モード』があります。

インターカムモード(個別通話)：グループ通話設定をOFFにして使用します。

グループ通話モード(4人同時通話)：グループ通話設定をONにして使用します。

※ 本体の電源を入れペアリングを完了してください。(77ページ参照)

### ■ グループ通話設定をON/OFFにするには (操作モードをインターカム、またはグループ通話モードに切り替える)

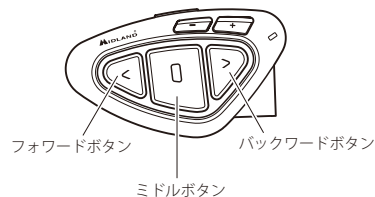
操作モードがインターカムモード、またはグループ通話モードの時に、ガイダンスが流れるまでフォワードボタンを長押し(約7秒間)します。

グループ通話設定ON：“グループ通話モード”とガイダンスされます。

グループ通話設定OFF：“インターカムモード”とガイダンスされます。

※ 設定は、フォワードボタンを長押しするたびにON/OFFが交互に変わります。

ON/OFFを切り替えるには、再度フォワードボタンを長押ししてください。



### インターカムモード(個別通話)時の操作方法

#### ■ マニュアル操作

※ 必ずインターカムモードで操作してください。

#### ミッドランドのインカムとインターカム通話する場合

- インターカム通話するには(呼び出す)  
呼び出したい相手を登録したボタン(フォワード、ミドル、バックワードボタン)を押します。  
※ 数秒後にピーブ音が聞こえ、インターカム通話が開始されます。
- インターカム通話をやめるには(切る)  
インターカム通話開始時と同じボタンを再度押します。  
※ ピーブ音が聞こえ、インターカム通話を終了します。



## 他社製インカムとインターカム通話する場合 ミッドランドインカムの操作

### ● インターカム通話するには(呼び出す)

呼び出したい相手を登録したボタン(フォワード)を長押し(約3秒)します。  
※ 数秒後にピープ音が聞こえ、インターカム通話が開始されます。

### ● インターカム通話をやめるには(切る)

インターカム通話開始時と同じボタンを再度押します。  
※ ピープ音が聞こえ、インターカム通話を終了します。

## 他社インカム製品の操作

### ● インターカム通話するには、リダイヤル発信と同じ操作をします。

● インターカム通話をやめるには、携帯電話を終話する操作と同じです。  
※ 詳しくは、他社インカム製品の取扱説明書を参照してください。

### ■ ボイスアクティベーション操作 ※調整は79ページ参照

“もしもし”等マイクに向かって話かけるとインターカム通話を開始することができます。  
※ ミドルボタンに登録されたミッドランド製インカムのみ、インターカム呼び出しが可能です。

### ● インターカム通話するには

マイクに向かって話しかけます。  
※ 数秒後にピープ音が聞こえ、インターカム通話が開始されます。

### ● インターカム通話をやめるには

お互いに話をしない状態が約40秒間続くと自動的にインターカム通話をやめます。  
すぐに通話をやめたい場合は、ミドルボタンを押します。

● ボイスアクティベーション設定(オン/オフ)を一時的に切り替えるには  
バックワードボタンを“ボックス機能オン”または“ボックス機能オフ”がガイダンスされるまで約7秒間押します。

※ 設定は、トグル設定となっていますので、設定する度にオン/オフ設定が交互に変わります。もし、設定したい値(オン/オフ)と違った設定になった場合は、もう一度設定操作を行ってください。

※ FMラジオモードでは、ラジオをOFFにしてから操作してください。

## グループ通話モード(4人で同時通話)時の操作方法

グループ通話(4人で同時に通話)する場合は、グループ通話モードをONにして下記の操作方法で操作します。

### 注意

- ペアリングは、必ず【会議通話使用時のペアリング方法】(78ページ)の構成にしてください。
- グループ通話を使用する場合、操作モードはグループ通話モードになります。
- グループ通話使用時は、以下のことができない仕様となっております。
  - ・携帯電話、MP3プレイヤー等のデバイスの使用
  - ・他社のインターカムを含めた会議通話
  - ・ミドルボタンに登録したインターカムの使用
  - ・ボイスアクティベーション機能の使用
  - ・FMラジオの使用

### ● インターカム通話するには(グループ通話)

カンファレンスモードでインカムが登録されているボタン(フォワードまたはバックワードボタン)を使用して、それぞれ個別にインターカム呼出しを行います。接続が完了した相手から順番に会議通話できます。

### ● インターカム通話を終了するには(グループ通話)

通話を終了したい相手が登録されているボタン(フォワードまたはバックワードボタン)を押すと、通話を切断することができます。

### ● ワンクリックトークファンクション

ミドルボタンを押すことにより、ワンクリックでグループ通話することができます。

## ボリュームの調整(AGC機能)

本機は環境に合わせて自動的にボリュームを調整します。  
手動での調整はボリューム⊕/ボリューム⊖ボタンを押してください。

※ AGC機能により、車速度が速くなるとボリュームが大きくなります。

※ 外部入力端子からの音声は、ボリュームボタンで音量調整しないでください。外部入力端子に接続した機器のボリュームで調整してください。

## AGC機能を設定する

AGC機能をONまたはOFFに設定することができます。

### 1. ボリューム⊕と⊖を同時に3秒間押すと設定値がアナウンスされます。

設定がオン：「AGCオン」とアナウンス  
設定がオフ：「AGCオフ」とアナウンス

※希望した設定にならなかった場合、もう一度ボリューム⊕と⊖を同時に3秒間押して設定してください。

※FMラジオモードでは、ラジオをOFFにしてから操作してください。

## インターカム通話中の呼び出しお知らせ機能

### ●相手がインターカム通話中の場合

インターカム通話したい相手が他のインターカム通話中、ビジー音がなります。

### ●インターカム通話中、他のインターカムから呼び出しがあった場合

呼び出しがあったインターカムの番号(1~3)が音声ガイダンスによって通知されます。



ガイダンス	通話する為に押すボタン
1	フォワードボタン
2	ミドルボタン
3	バックワードボタン

## 携帯電話／ミュージックプレイヤーとのペアリング(Bluetooth)

携帯電話／ミュージックプレイヤーとのペアリング操作は、ボリューム⊕ボタンを使用します。また、ボリューム⊖ボタンを使用してさらにもう一台の携帯電話を登録できます。ペアリングが完了後、フーンモードがアクティブになります。

※携帯電話に着信があった場合、着信を優先させるため、音楽の再生、FMラジオは中断されます。

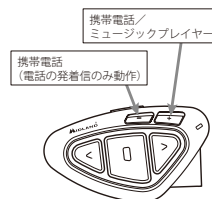
※ボリューム⊖ボタンに登録した携帯電話は、発信および通話が可能ですが、携帯電話の音楽等を聴くことはできません。携帯電話の音楽等を聴きたい場合は、必ずボリューム⊕ボタンに登録してください。

※ボリューム⊕と⊖ボタンにそれぞれ1台のBluetooth機器を接続できます。

※ボリューム⊕ボタンにA2DP/HFP対応のBluetoothデバイスを接続できます。ボリューム⊖ボタンにHFP/HSP対応のBluetoothデバイスを接続できます。

※携帯電話とGPSナビを同時に接続したい場合は、携帯電話をボリューム⊕ボタンとペアリングをしてください。

※2台の携帯電話をペアリングする場合は、バックグラウンドフィーチャーをOFFにして使用してください。



## ペアリングのしかた

1. 電源をOFFにする。
2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、長押し(約7秒間)する。
3. ボリューム⊕またはボリューム⊖ボタンを長押し(約3秒)してペアリングモードにする。  
ボリューム⊕ボタン：携帯電話／ミュージックプレイヤー  
ボリューム⊖ボタン：携帯電話  
※ペアリングモードに入ると青色と赤色のLEDが交互に点滅します。
4. 携帯電話などのマニュアルに従って、Bluetooth検索をONにする、またはペアリング状態にする。  
※携帯電話に本製品が認識されると、携帯電話にMidland BTX2 PROと表示されます。
5. Midland BTX2 PROを選択し、PIN CODE(0000)を入力する。  
※携帯電話などのBluetoothデバイスの登録方法及び操作については、それぞれ付属のマニュアルを参照してください。  
※登録が完了すると、自動でペアリングモードから抜け、青色LEDがゆっくり点滅し、使用できる状態となります。

## 操作方法

フォーンモードの時、リダイヤル発信、着信応答、音楽を聞くなどの操作ができます。インターカムモードでは、携帯電話の着信にだけ応答できます。

フォーンモードにするには、ミドルボタンを“フォーンモード”とアナウンスされるまで長押し(約3秒間)します。

※ 操作方法は、操作一覧表(76ページ)を参照してください。

※ ミュージックプレイヤーをペアリングした場合は、携帯電話の機能を使用することはできません。

## 携帯電話の着信に応答するには

着信に応答する方法は2通りあります。

A: “もしもし”などの単語をマイクに向かってしゃべると自動で応答できます。

※ この機能は、着信音が3回聞こえたあと動作します。

※ 携帯電話がこの機能サポートしている必要があります。

B: フォワードボタンを押して着信に応答してください。

## 着信中の電話に出たくない場合

着信中の電話に出たくない場合は、ビツと音が鳴るまで、フォワードボタンを数秒間押します。

## 電話をかける

電話のかけ方は3通りあります。

A: 携帯電話を使用して電話をかけます。

B: リダイヤル機能を使用して電話をかけたい場合、

携帯電話(ボリュームⓂに登録): フォワードボタンを3秒間押します。

携帯電話(ボリュームⓂに登録): バックワードボタンを3秒間押します。

※ 操作モードは、必ずフォーンモードにしてから操作してください。

C: 以下の手順により、音声認識を使用して電話をかけることができます。

① 携帯電話をボリュームⓂに登録した場合はフォワードボタン、ボリュームⓂに登録した場合はバックワードボタンを押します。

② 電話をかけたい相手の名前をマイクに向かって話します。

※ 携帯電話の音声認識機能を使用するため、携帯が音声認識機能に対応している必要があります。

※ 音声認識の精度は、携帯電話の音声認識機能に依存します。

## 電話を切る

通話中の電話の切り方は3通りあります。

A: 相手が電話を切るまで待つ。(自動的に電話が切れます。)

B: フォワードボタンを押す。

C: 携帯電話を操作して電話を切る。

## 短縮ダイヤルを使う

短縮ダイヤルを1つ登録することができます。

短縮ダイヤルの登録は、BTUPDATER(WinPCソフト)

またはBTSETアプリ(アンドロイド専用)を使用して登録します。

短縮ダイヤルの登録方法等は、BT UPDATERまたはBTSETアプリの説明書を参照してください。

BTUPDATER、BTSETアプリのインストール方法および使用方法は、以下のURLを参照してください。

BTUPDATER: <http://www.midlandradio.jp/support/dl.html>

BTSETアプリ: <http://www.midlandradio.jp/support/manual.html>

1. BTUPDATERまたは、BTSETアプリを使用して短縮ダイヤルを設定する。
2. フォーンモードでフォワードボタンを電話の呼び出し音が聞こえるまで約8秒間押す。
  - ※ 短縮ダイヤルは、ボリュームⓂに登録された携帯電話のみで動作します。
  - また、短縮ダイヤルが登録されている場合のみ動作します。
  - ※ 短縮ダイヤルをキャンセルしたい場合は、フォワードボタンを押します。

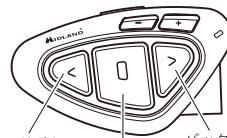
## 携帯電話または、ミュージックプレイヤーの音楽を聴く

本製品のボタンを使用してミュージックプレイヤーを操作できます。

※ 操作モードを必ず、フォーンモードにしてから操作してください。

※ ボリュームⓂに登録した携帯電話の音楽のみ操作できます。

### ● 操作のしかた



フォワードボタン:  
次の曲へ

バックワードボタン:  
前の曲または、曲の先頭へ

ミドルボタン:  
再生/ポーズ

※ 音楽を聴いている最中に着信があったりインターカム呼出されたりした場合は、音楽再生が中断されます。

## 音楽をシェアする(ライダーとパッセンジャー)

ライダーの聞いている音楽をパッセンジャーと一緒に聞ける機能です。

- ※ インターカム通話、電話で通話中に音楽をシェアすることはできません。
- ※ ミュージックシェアできるインカムは、ライダーのインカムのミドルボタンにペアリングされたインカムのみです。
- ※ ミュージックシェア中のインカムとの最大通信距離は、10mです。

### ●ミュージックシェアを開始する

1. ミドルボタンを3秒間押し、パッセンジャーのインカムをインターカムまたはフォーンモードにする。
2. ミドルボタンを3秒間押し、ライダーのインカムをフォーンモードにする。
3. ライダーのインカムのミドルボタンを押し、音楽を再生する。
4. ライダーのバックワードボタンを3秒間押し。  
パッセンジャーと音楽をシェアが開始されます。

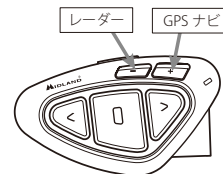
### ●ミュージックシェアをやめる

ライダーのバックワードボタンを長押しする。  
または、パッセンジャーのミドルボタンを押すと  
ミュージックシェアを止めることができます。

## GPSナビ／レーダーとのペアリング(Bluetooth)

Bluetooth接続ができるオートバイ用GPSナビ／レーダーは、本機とペアリングすることができます。

- ※ ボリューム⊕と⊖ボタンにそれぞれ1台のBluetooth機器を接続できます。
- ※ ボリューム⊖ボタンにA2DP/HFP対応のBluetoothデバイスが登録できます。ボリューム⊖ボタンにHFP/HSP対応のBluetoothデバイスを接続できます。
- ※ 携帯電話とGPSナビを同時に接続したい場合は、携帯電話をボリューム⊖ボタンとペアリングをしてください。



### ●レーダーとペアリングするには

ボリューム⊖ボタンにレーダーをペアリングします。

### ●GPSナビとペアリングするには

ボリューム⊕ボタンにGPSナビをペアリングします。

## ペアリングのしかた

1. 電源をOFFにする。
2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、約7秒間押し続ける。
3. 登録したいボタン(ボリューム⊕/ボリューム⊖)を約3秒押ししてペアリングモードにする。  
※ペアリングモードに入ると青色と赤色のLEDが交互に点滅します。
4. 接続するデバイスのマニュアルに従い、ペアリングモードにする。
5. Midland BTX2 PROを選択し、PIN CODE (0000)を入力する。  
※ペアリングが完了すると、フォーンモードがアクティブになります。

※ 登録するデバイスのペアリング方法及び操作については、製品付属のマニュアルを参照してください。

※ 登録が完了すると、自動でペアリングモードから抜け、青色LEDがゆっくり点滅し、使用できる状態となります。

## HSP対応のレーダーのバックグラウンドフィーチャー

インターカム通話中に通話を切断することなくレーダーの音声を聞く場合は、バックグラウンドフィーチャーをONにする必要があります。

※ バックグラウンドフィーチャーは、インターカムモードでのみ有効です。使用する際には、インターカムモードにしてください。

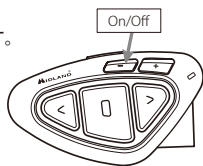
※ HSPに対応したレーダーをペアリングしたときに動作します。

### ● ON / OFFの仕方

ボリューム⑥ボタンを約3秒間押しON/OFFを切り替えます。

設定がON:「バックグラウンド機能オン」とアナウンス。

設定がOFF:「バックグラウンド機能オフ」とアナウンス。



## ペアリング情報のリセット

本製品に登録した接続機器の全てのペアリング情報をリセットします。

※ バッテリーが十分に残っている状態で行ってください。

1. 電源をOFFにする。
2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、約7秒間押し続けセットアップモードにする。
3. ボリューム⑥とボリューム⑥ボタンを同時に約3秒間押し続ける。  
※ 青色LEDが点灯し、接続機器情報のリセットが開始されます。  
※ ペアリング情報のリセットが終了すると、赤色LEDが点灯します。
4. ミドルボタンを2回押す。  
セットアップモードを終了し、ペアリング情報をリセットします。

## FMラジオを聞く

本製品でFMラジオを聞くことができます。

ミドルボタンを3秒間押し、操作モードをFMラジオモードにして76ページの「操作一覧表」のように操作してください。

※ FMラジオモードでは外部入力端子の音声を聞くことができません。

### ● FMラジオモードでのインターカム通話

ミドルボタンに登録されている相手のみ、ボイスアクティベーション機能を使用してインターカム呼び出しができます。

※ マニュアル操作で通話相手呼び出し出す場合は、必ず操作モードをインターカムにして操作してください。

## FMラジオをON / OFFする

ミドルボタンを押してON/OFFを切り替えます。

※ ラジオがONの場合: ホワイトノイズ、または受信している放送が聞こえます。  
ラジオがOFFの場合: 何も聞こえません。

## 受信可能なFM放送局を探してラジオを聞く

1. ミドルボタンを押して、ラジオをONにする。
2. フォワードボタン(seek up)またはバックワードボタン(seek down)を押す。  
受信可能なFM局を探して受信できる局で止まります。  
※ 放送局を探している間、無音状態になります。

## よく聞くラジオ局を登録する

1. ミドルボタンを押して、ラジオをONにする。
2. フォワードボタンまたはバックワードボタンを長押しして、登録したいメモリーを選ぶ。  
メモリー番号がガイダンスされるので、登録したいメモリー番号を選択してください。
3. フォワードボタン(seek up)またはバックワードボタン(seek down)を押して登録したいラジオ局を探す。
4. 受信中にフォワードボタンとバックワードボタンを同時にピッと音がなるまで約3秒間押す。  
選択したメモリーに登録されます。

## 登録したラジオ局を聞く

1. ミドルボタンを押して、ラジオをONにする。
2. フォワードボタンまたはバックワードボタンを長押しする。
3. メモリー番号がガイダンスされるので、選局したいメモリー番号までフォワードボタンまたはバックワードボタンを長押しする。

## FM ラジオを使用しない

操作モード切替時、FM ラジオモードを出てこないようにすることができます。  
※ “FM ラジオを使用しない” を設定した場合、FM ラジオが聞けなくなります。

### ● 設定方法

1. 電源をOFFにする。
2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、約7秒間押し続けセットアップモードにする。
3. ミドルボタンとボリューム⊕ボタンを同時に3秒間押す。  
青色LEDが3回点滅：FM ラジオを使用しない  
青色LEDが1回点灯：FM ラジオを使用する  
※ 希望した設定にならなかった場合、ミドルボタンとボリューム+ボタンを再度同時に3秒間押ししてください。
4. ミドルボタンを2回押して、セットアップモードを終了する。

## 緊急ブレーキランプ機能を設定する

バックワードボタンとフォワードボタンを同時に3秒間押すと、設定値がガイダンスされます。

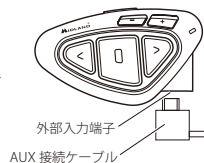
- ・ON：ストップライトオン
- ・OFF：ストップライトオフ

※ 希望した設定にならなかった場合、もう一度、バックワードボタンとフォワードボタンを同時に3秒間押し設定を行ってください。

## 外部入力端子への接続

外部入力端子を使用して、iPodやMP3プレイヤーなどオーディオ機器の音楽を聴くことができます。

- ※ インターカム通話中、電話中でも外部から入力された音源が聞こえます。ただし、FMラジオモードでは、使用できません。
- ※ 本製品を使用して、iPodなどの接続機器を操作することはできません。
- ※ ミッドランドインカム専用Aux接続ケーブル(別売)が必要です。



### ■ 音量調整

外部入力端子に入力された音声は、ボリュームボタンを使用して音量調整することができます。  
AGC機能により、速度が速くなるとボリュームが大きくなります。  
※ 接続した機器の音量を最大にしないでください。  
常用速度で、最適なボリュームになるよう調整を行ってください。

### ■ 外部入力端子の一時的なON／OFF切り替え

ミドルボタンとフォワードボタンを同時に「ピッ」と音が鳴るまで押すと、外部入力端子のON/OFFを一時的に切り替えることができます。  
※ 設定は、ボタンを押すたびに有効／無効が交互に変わります。  
※ 現在の設定値が分からない場合は、実際に外部入力端子にオーディオ機器を接続して確かめてください。

### ■ 通話中の外部入力端子の有効／無効設定(初期値：有効)

通話中の外部入力端子を強制的に無効にすることができます。通話中に外部入力端子からの音源を聞きたくない場合は、この設定を無効にしてください。

1. 電源をOFFにする。
2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、約7秒間押し続けセットアップモードにする。
3. フォワードボタンとミドルボタンを同時に3秒間押す。  
※ 青色LEDが点滅した後、赤色LEDが点灯し、セットアップモードになります。
  - ・青色LEDが1回点滅：ON(有効)
  - ・青色LEDが3回点滅：OFF(無効)※ 希望した設定になっていなかった場合、もう一度、フォワードボタンとミドルボタンを同時に3秒間押ししてください。
4. ミドルボタンを2回押して、セットアップモードを終了する。

## その他の機能

### ボイスアクティベーションの調整

ボイスアクティベーション機能は、周囲の環境音の影響を受けますので、万が一、誤動作をした場合に調整を行ってください。

感度の設定は、感度 1～4、OFF の 5 つの中から選択できます。

OFF を選択した場合、ボイスアクティベーション機能が無効となります(一時的なON/OFF切替含む)。

1. 電源をOFFにする。
2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、約7秒間押し続けセットアップモードにする。
3. バックワードボタンを押す。  
※青色LEDが点灯します。
4. ボリューム⊕(感度が高い方向)または、ボリューム⊖(感度が低い方向)ボタンを使用して、感度を調整します。  
※ボリュームボタンを押す度に赤色LEDが点灯します。  
※感度が上限(ハイ)または下限(ロー)になった場合、赤色LEDが点灯しません。
5. 感度調整が終了したら、バックワードボタンを押す。  
※設定された感度に従い青色LEDが点滅します。
  - ・ 1回の点滅：ボイスアクティベーション機能のOFF
  - ・ 2回の点滅：感度 1 (ロー)
  - ・ 3回の点滅：感度 2
  - ・ 4回の点滅：感度 3
  - ・ 5回の点滅：感度 4 (ハイ)その後、赤色LEDが点灯し、セットアップモードになります。  
※希望した設定になっていなかった場合、手順3から始めてください。
6. ミドルボタンを2回押して、セットアップモードを終了する。

### ソフトウェア(Firmware)のアップデート

PCと本製品をUSBケーブルで接続し、ソフトウェア(Firmware)をアップデートできます。ミッドランドのホームページのBTX2 PROのページからPCソフトウェア、アップデートマニュアル、ソフトウェア(Firmware)をダウンロードしインストールしてください。

**Webサイト：**[www.midlandradio.jp/support.html](http://www.midlandradio.jp/support.html)

※ アップデート用PCソフトウェアをPCにインストールするまで、PCと本製品を接続しないでください。

※ 現時点では、Windows PCのみアップデートが可能です。

### 工場出荷状態に戻す

※ バッテリーが十分に残っている状態で行ってください。

1. 電源をOFFにする。
2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、約7秒間押し続けセットアップモードにする。
3. フォワード、ミドル、バックワードボタンを同時に3秒間押す。  
※初期化が開始され、青色LEDが点灯します。  
※初期化が終了すると赤色LEDが点灯します。
4. ミドルボタンを2回押して、セットアップモードを終了する。



## こんなときは？

こんな時は？	ここを確かめてください
通話相手にこちらの声が聞こえない	本体にマイクが確実に取り付けられているか確認してください。
	マイクの白色のマークが口側に向いているか確認してください。
	マイクと口の間隔を 5 mm 程度にしてください。
通話相手の声が聞こえない	スピーカーの音量を上げてください。
	オーディオキットが本体に正しく接続されているか確認してください。
BTX2 PROが携帯電話とうまく連動しない	本機の電源がONになっているか確認してください。
	バッテリーが十分に充電されているか確認してください。
	携帯電話が通話可能かどうか確認してください。
	携帯電話の Bluetooth 機能がONになっているか確認してください。
過度の風切音	風の影響の少ない場所へマイクを移動させてください。

総代理店：株式会社LINKS

〒604-8025 京都市中京区下大阪町349-6 イシズミビル7F

TEL：075-708-2362 FAX：075-708-2372

<http://www.midlandradio.jp>

製造元：Midland Radio Corporation

<http://www.midlandradio.com>





- **INFORMAZIONE AGLI UTENTI:** i sensi dell'art. 13 del decreto legislativo 25 luglio 2005, n.151 "Attuazione delle Direttive 2002/95/CE, 2002/96/CE e 2003/108/CE, relative alla riduzione dell'uso di sostanze pericolose nelle apparecchiature elettriche ed elettroniche, nonché allo smaltimento dei rifiuti".

Il simbolo del cassonetto barrato riportato sull'apparecchiatura indica che il prodotto alla fine della propria vita utile deve essere raccolto separatamente dagli altri rifiuti. L'utente dovrà, pertanto, conferire l'apparecchiatura giunta a fine vita agli idonei centri di raccolta differenziata dei rifiuti elettronici ed elettrotecnici, oppure riconsegnarla al rivenditore al momento dell'acquisto di una nuova apparecchiatura di tipo equivalente, in ragione di uno a uno. L'adeguata raccolta differenziata per l'avvio successivo dell'apparecchiatura dismessa al riciclaggio, al trattamento e allo smaltimento ambientalmente compatibile contribuisce ad evitare possibili effetti negativi sull'ambiente e sulla salute e favorisce il riciclo dei materiali di cui è composta l'apparecchiatura. Lo smaltimento abusivo del prodotto da parte dell'utente comporta l'applicazione delle sanzioni amministrative di cui al dlgs. n.22/1997 (articolo 50 e seguenti del dlgs. n.22/1997).

- All articles displaying this symbol on the body, packaging or instruction manual of same, must not be thrown away into normal disposal bins but brought to specialised waste disposal centres. Here, the various materials will be divided by characteristics and recycled, thus making an important contribution to environmental protection.

- Alle Artikel, die auf der Verpackung oder der Gebrauchsanweisung dieses Symbol tragen, dürfen nicht in den normalen Mülltonnen entsorgt werden, sondern müssen an gesonderten Sammelstellen abgegeben werden. Dort werden die Materialien entsprechend ihrer Eigenschaften getrennt und, um einen Beitrag zum Umweltschutz zu liefern, wiederverwertet.
- Todos los artículos que exhiban este símbolo en el cuerpo del producto, en el embalaje o en el manual de instrucciones del mismo, no deben ser desechados junto a los residuos urbanos normales sino que deben ser depositados en los centros de recogida especializados. En estos centros, los materiales se dividirán en base a sus características y serán reciclados, para así poder contribuir de manera importante a la protección y conservación del medio ambiente.
- Tous les articles présentant ce symbole sur le corps, l'emballage ou le manuel d'utilisation de celui-ci ne doivent pas être jetés dans des poubelles normales mais être amenés dans des centres de traitement spécialisés. Là, les différents matériaux seront séparés par caractéristiques et recyclés, permettant ainsi de contribuer à la protection de l'environnement.
- Όλα τα προϊόντα στα οποία εμφανίζεται το ακόλουθο σύμβολο στο σώμα, τη συσκευασία ή το εγχειρίδιο χρήσης τους, δεν πρέπει να εναποθέτονται στους κοινούς κάδους απορριμμάτων αλλά να προσκομίζονται στα ειδικά κέντρα αποκομιδής. Εκεί, τα διάφορα υλικά θα πρέπει να διαχωρίζονται ανάλογα με τα χαρακτηριστικά και τα ανακυκλούμενα υλικά, συμμετέχοντας έτσι ουσιαστικά στην προστασία του περιβάλλοντος.



Prodotto o importato da: **CTE INTERNATIONAL srl**  
Via. R.Sevardi 7 42124 Reggio Emilia - Italia.

Prima dell'uso leggere attentamente le istruzioni.

Produced or imported by: **CTE INTERNATIONAL srl**  
Via. R.Sevardi 7 42124 Reggio Emilia - Italy.

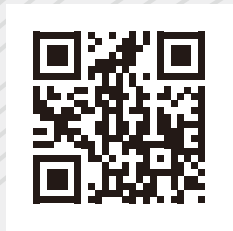
Read the instructions carefully before installation and use.

Vertrieb durch: **ALAN ELECTRONICS GmbH**  
Daimlerstraße 1K - D-63303 Dreieich Deutschland.

Vor Benutzung Bedienungsanleitung beachten.

Importado por: **ALAN COMMUNICATIONS, SA**  
C/Cobalt, 48 - 08940 Cornellà de Llobregat, Barcelona - España.

Antes de utilizar, lea atentamente el manual de uso.



[www.midlandeurope.com](http://www.midlandeurope.com)

**MIDLAND**<sup>®</sup>  
PUT YOURSELF IN ACTION